

公共施設における「こども・若者の居場所づくり」に関する考え方について

1. 趣旨・背景




こどもが成長していく上で居場所は不可欠であることから、国は令和5年12月に「こどもの居場所づくりに関する指針」を策定した。この指針は、こども基本法に則り全てのこどもが安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、自己肯定感を高め、将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で成長し、主体性や創造力を十分に発揮して社会で活躍していけるよう、「こどもまんなか」の居場所づくりを実現することを理念としている。

2. 公共施設における居場所の役割

指針では、市町村に対して量・質の両面からこどもの居場所づくりを計画的に推進することが求められている。そのため、従来のこども対象の公共施設のみにとらわれることなく、既存の公共施設においても、地域に多くのこども・若者の居場所を整備、確保することが必要となる。

3. 本市の現状

現在の公共施設におけるこども・若者の居場所は以下のとおりである。

市役所エントランス棟 「市民ラウンジ」	
児童館 「児童館コスモス」 「児童館ヒマワリ」 遊びを通して科学に対する興味・関心を高め、創造性豊かな児童を育むことを願い、科学体験できる機能を併設した大型児童センター	 <p>児童館コスモス</p>  <p>児童館ヒマワリ</p>

<p>地区センター・公民館</p> <p>「各地区13館」</p> <p>学校の宿題・試験勉強や資格勉強などをする方に集中して学習することができる場を提供するため、一部を学習室として開放</p> <p>【フリースペース、談話コーナー等開放】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新方、増林、出羽、蒲生、川柳、大沢、南越谷 <p>【学習室、会議室等開放】</p> <p>(不定期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜井、越ヶ谷 <p>(学校夏季休業期間限定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大袋、荻島、大相模、北越谷 	 <p>増林 フリースペース</p>  <p>桜井 学習室</p>
<p>北部市民会館</p> <p>「フリースペース」</p>	
<p>市民活動支援センター</p> <p>「多文化交流ひろば」</p>	
<p>ほっと越谷</p> <p>「交流コーナー」</p>	
<p>図書館</p> <p>「市立図書館」</p> <p>「北部図書室」</p> <p>「南部図書室」</p> <p>「中央図書室」</p> <p>各図書館・室に読書、勉強用に閲覧席を用意</p>	 <p>南部図書室くつろぎ空間</p>

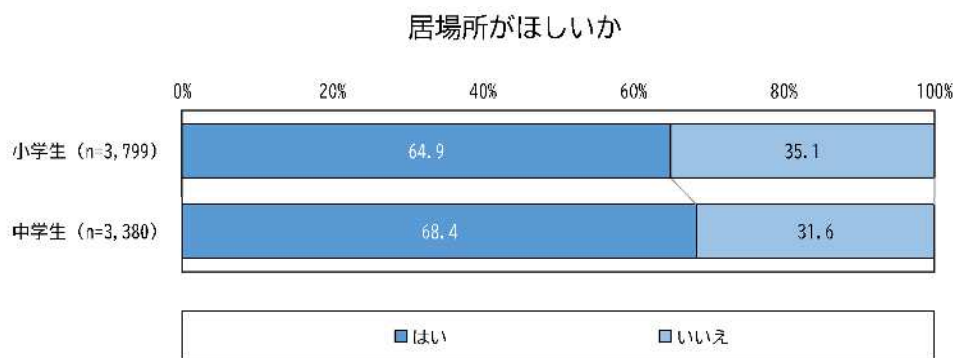
4. こども・若者のニーズ

(1) こども計画策定に係る基礎調査

令和6年にこども計画策定に係る基礎調査を実施した。その中で、居場所に関する調査の結果、以下の通りとなった。

【小中学生調査】

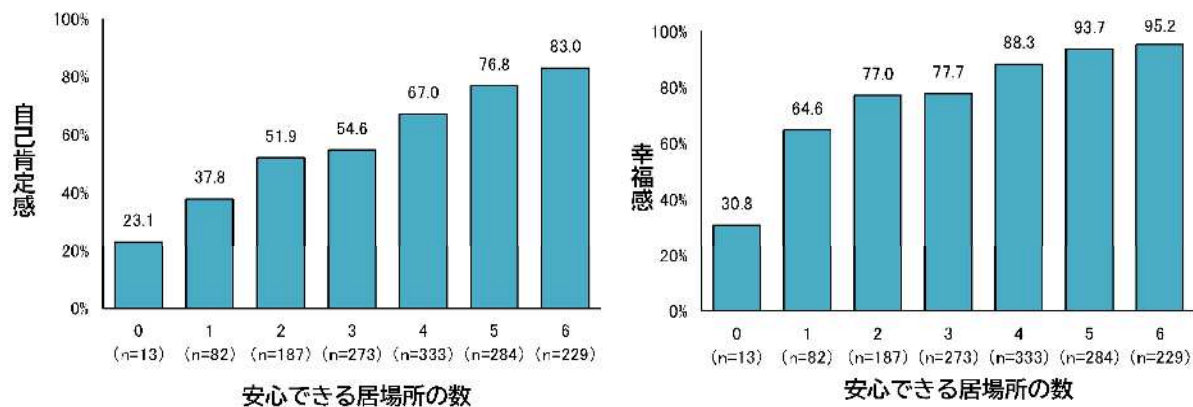
小中学生調査において、家や学校以外の居場所が欲しいかとの問いに対して、小学生は「はい」が64.9%と「いいえ」の35.1%を大きく上回る。中学生についても、「はい」が68.4%と「いいえ」の31.6%を大きく上回る。



【こども・若者の意識と生活に関する調査 (15歳～39歳対象)】

安心できる居場所についての問いに対して、安心できる居場所の数が多いほど、「自己肯定感 (いまの自分が好きだ)」「幸福感 (今、自分が幸せだと思う)」の「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を選択した割合が高くなっている。

安心できる居場所の数と自己肯定感等の関係



(2) 児童館機能調査

令和7年度に児童館リニューアルに係る中高生、児童館利用者とその保護者等を対象とした児童館機能調査において、ワークショップ及びアンケート調査を実施した。その中で、施設にほしいスペースや設備、またサービスについて意見を聴取した結果以下の通りとなった。

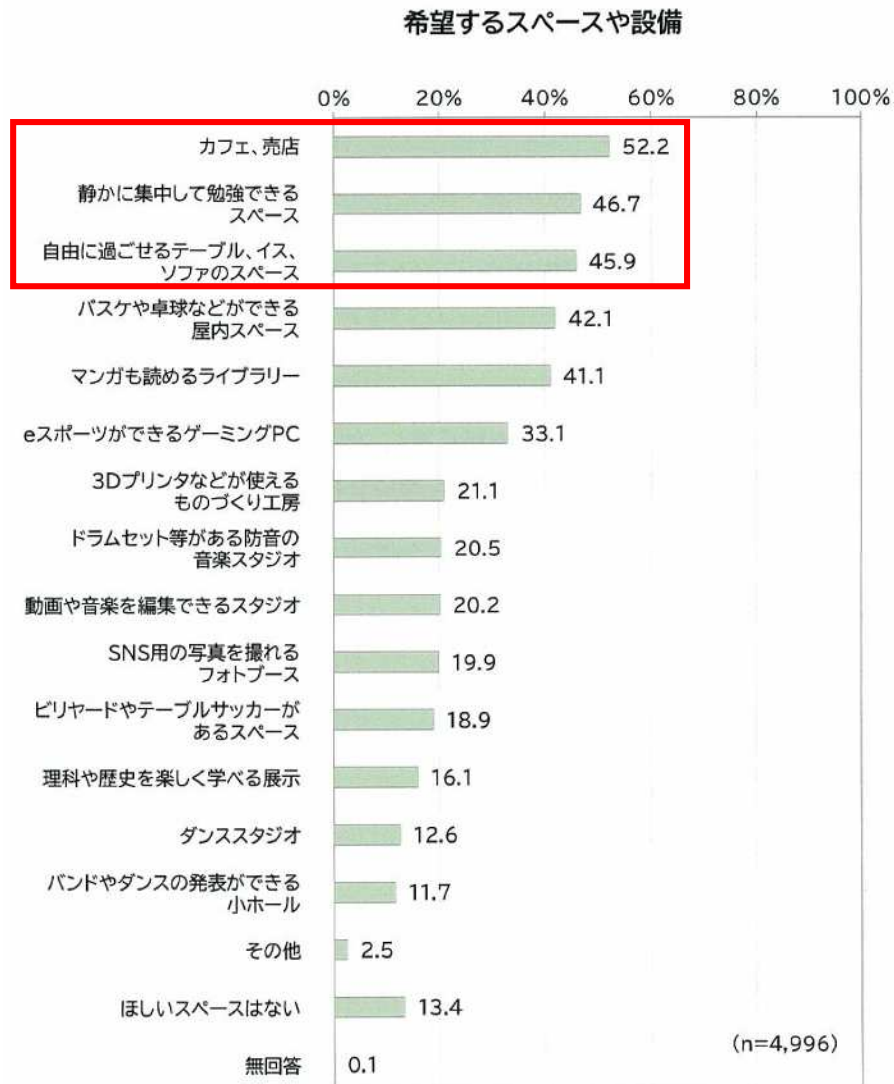
【スペースや設備】

<ワークショップ>

いずれのグループでもソファやテーブルのあるスペースでゆっくり過ごしたい・友人と話したい・リラックスしたいとの意見が出た。また、飲食できる場所が欲しい、お菓子・軽食・飲み物などで小腹を満たしたいとの意見も出た。

<アンケート調査>

アンケート調査において、「スペースや設備について希望するもの」をあげてもらったところ、カフェ、売店が一番多く、続いて静かに集中して勉強できるスペース、自由に過ごせるテーブル、イス、ソファのスペースとなった。



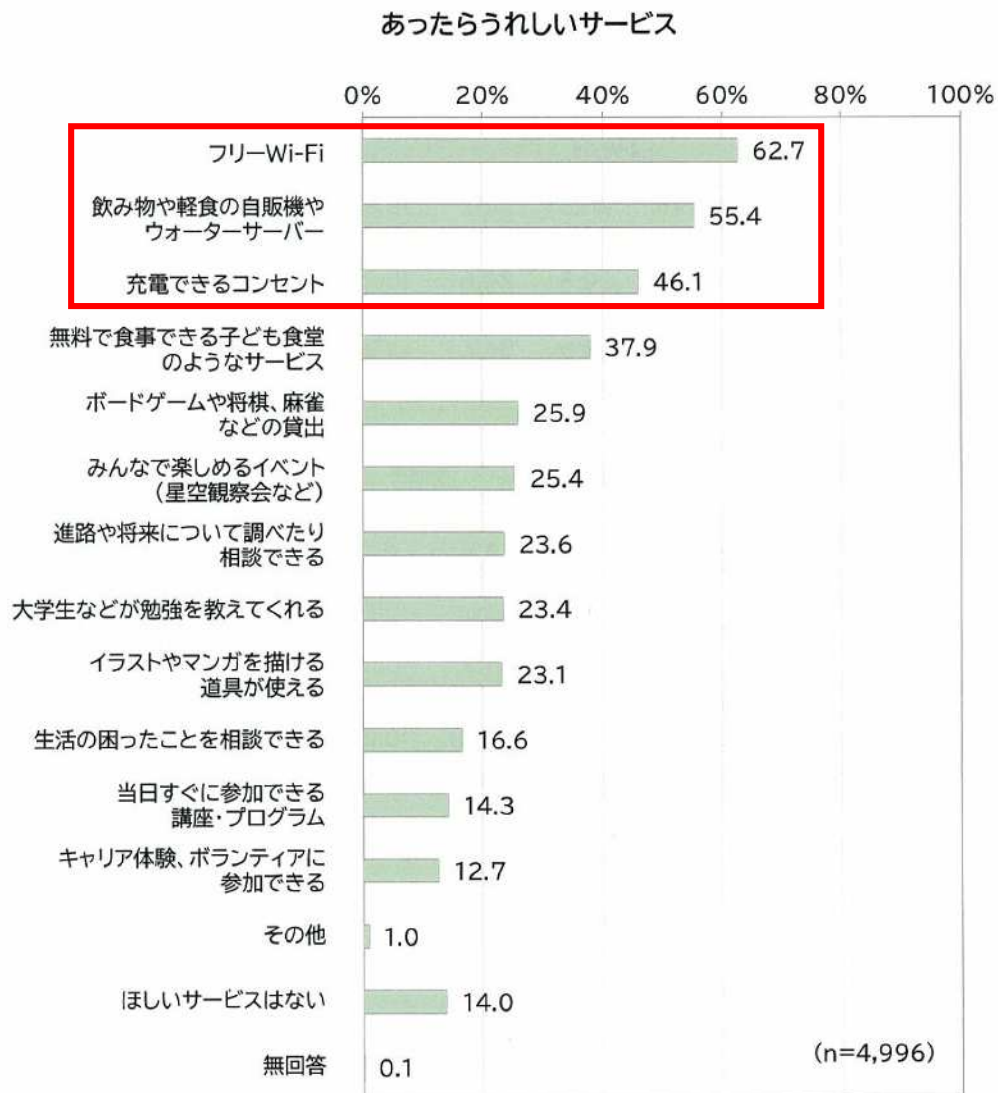
【サービス】

<ワークシヨップ>

過ごすうえで必要な基本環境としてWi-Fiや充電用コンセントがあげられた。また、自販機・ウォーターサーバーの必要性についても多くの意見があがった。

<アンケート調査>

アンケート調査において、「あったらうれしいサービスについて」あげてもらったところ、フリーWi-Fi、飲み物や軽食の自動販売機やウォーターサーバー、充電できるコンセントが上位となっている。



5. 公共施設における「こども・若者の居場所づくり」に関する基本的な考え方

(1) 居場所づくりの方向性

児童館機能調査による中高生が欲しいスペースの基本的な方向性

- 「ながら行動」の一般化→活動内容や目的が固定されない、自由度の高い空間へのニーズ
 - ・ 昨今の中高生は「学習する」「音楽を聴く」などの単一行動よりも、おしゃべりをしながらスマホで返信する、勉強を教え合いながら動画を見つつおやつを食べるなど、複数の行為を同時に行う傾向がみられる。「自由に使える椅子とテーブル、ソファのスペース」があれば、一人で勉強、友達とおしゃべり、おやつを食べる、絵を描く、リラックスするなど多様に使える。
- 求める要素は「友達と楽しく過ごせる、自習できる、小腹を満たせる」
 - ・ 「中高生が気軽に長居できる場所＝サードプレイス」への要望が大半を占め、「友達と過ごせる、自習できる、休める、小腹を満たせる」が大きな要素として挙げられた。

こども・若者を対象とした調査からも家庭、学校以外の多くの「居場所」が求められている。その居場所については、活動内容や目的が固定されない、自由度の高い空間へのニーズであり、気軽に長居できる場所＝サードプレイスである。まずは市内に多くのそうした物理的スペースを用意し、こども・若者がアクセスしやすい環境を整える必要がある。そのため、今後、公共施設※を整備する際には、施設内にこども・若者の居場所スペースを確保することとする。

※公共施設…不特定多数の市民等が利用する公共建築物

①施設の整備

公共施設を整備する際には、こども・若者の居場所スペースを確保することとし、テーブル、椅子等の配置をする。既存の公共施設については、テーブル、椅子等を配置し、こども・若者の居場所スペースを確保するよう努めるものとする。

②設備の設置

公共施設を整備する際には、テーブル、椅子等を配置するとともに、充電用コンセントおよびフリーWi-Fiを設置することとする。既存の公共施設について、居場所スペースを確保した場合は、充電用コンセントおよびフリーWi-Fiの設置に努めるものとする。

③居場所の運用

こども・若者の居場所には、テーブル、椅子を配置したうえで、電源、Wi-Fiの設置に加え、飲食ができることも求められている。各施設に決まりはあるが、飲食が可能となるよう努め、少なくとも飲み物の持ち込みや飲用ができるよう対応するものとする。

(2) 各課の役割分担

各課の役割分担は以下のとおりとする。

青少年課	こども・若者の居場所づくりの推進や実施計画、関係課との連絡調整
施設所管課	居場所づくりに伴う施設整備や環境整備の実施、安全管理 (テーブル・椅子等の設置、Wi-Fi の設置や管理)

(3) 実施時の配慮事項

全体	居場所の設置、また機能拡充(相談機能追加等)については、青少年課が主体となるが、設置場所や物品の選定等、施設所管課と調整を図りながら進めることとする。
開設時間	居場所の開設時間については、施設の開設時間に準ずることとするが、児童館機能調査において、中学生は午後7時ころ、高校生は午後9時ころまでの開設の希望が多いことから、夜間の開設にも配慮する。また、土日の利用にも対応するものとする。
飲食	各施設に決まりがあり、飲食禁止の場合もあるが、利用者からは居場所での飲食が求められていることから、範囲を定めた上で飲食が可能となるよう努めることとする。少なくとも飲み物の持ち込みや飲用ができるよう対応するものとする。
テーブル、椅子	テーブル、椅子※については、木製品の購入を基本とし、施設所管課の予算にて購入する。購入については、森林環境譲与税基金の活用を検討する。
Wi-Fi	フリーWi-Fiについては、こども・若者が過ごすうえでの基本環境と捉えられている。既存の設備の活用やホームルーター※等工事なしで設置できるものを採用することとする。機器の購入、事務手数料や毎月の通信費の支出は施設所管課の予算にて対応するものとする。

【参考】

令和8年度に市役所エントランス棟3階にこども・若者の居場所「youth テラス」を設置予定。木製のテーブル、椅子を配置し、Wi-Fi (ホームルーター) を設置予定。



※テーブル等設置イメージ

※ホームルーター (Wi-Fi)

- 携帯電話の電波が届いていれば、工事不要でコンセントに差し込むだけで使用可能
- 1台で64台の機器が同時接続可能
- データ量無制限
- 5G対応で通信速度も高速

